

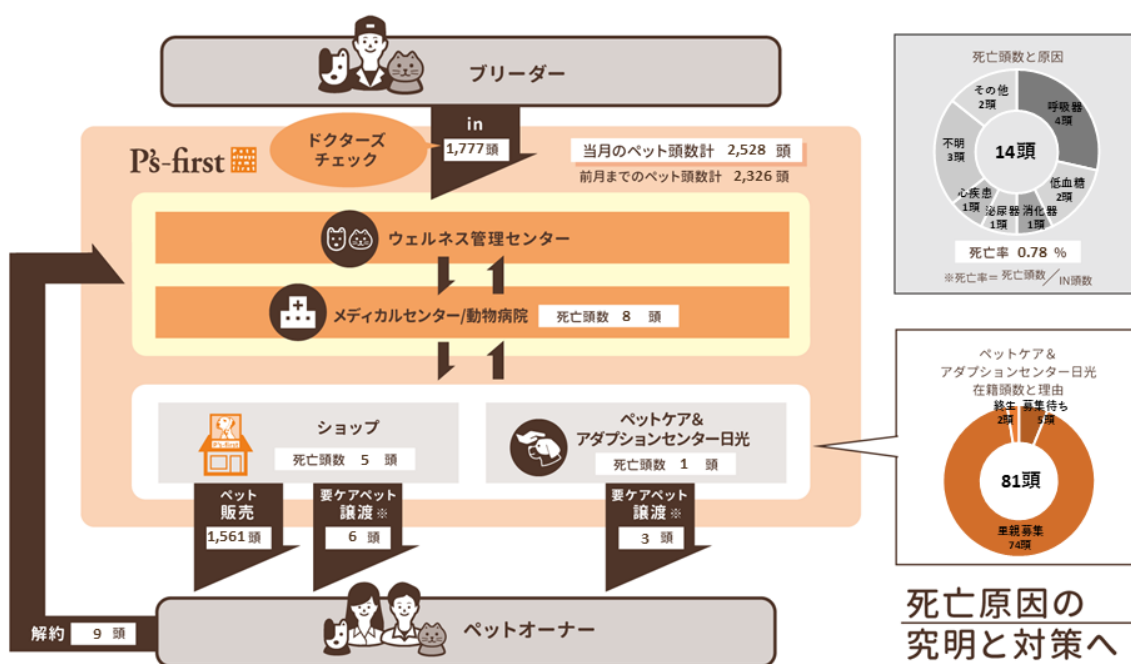
2025 年 10 月 30 日
 ペッツファーストホールディングス株式会社

ペッツファーストグループ マンスリーペットレポート 2025 年 9 月度

“Pets always come first”を理念に掲げるペッツファーストホールディングス株式会社（本社:東京都目黒区、社長：正宗 伸麻）は、ペットショップ「P's-first」直営店の 2025 年 9 月度における流通過程の重要指標をご報告いたします。

ペッツファースト マンスリーペットレポート 2025 年 9 月

2025.1



※要ケアペット・・・お迎え前に疾患が発見され、メディカルセンター/動物病院で治療後に十分な経過観察期間を経て譲渡する、継続的なケアや検査が必要なペット。

■ 2025 年 9 月度の流通過程における重要数値の結果報告

【契約ブリーダーとの取引について】

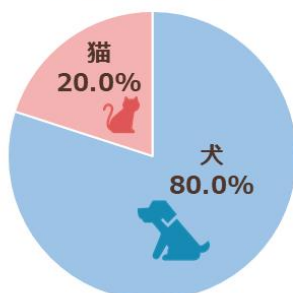
P's-first 直営店では、オークションなどの第三者を経由せず、全国の信頼できる契約ブリーダーからペットを直接取引しています。2025 年 9 月 1 日から 9 月 30 日までにペッツファーストグループが取り扱ったペット、すなわち契約ブリーダーから引き受けたペットの頭数が 1,777 頭、そのうち犬が 80.0%、猫が 20.0%です。なお、9 月度に引き受けたペットたちは 282 名の契約ブリーダーと取引いたしました。

また、ペットの心身の健康を守ることおよび、ペット業界の日齢偽装問題へ対する対策として、P's-first 直営店で取引するペットの取引日齢を法令で定められた生後 57 日齢以上から 60 日齢以上へ段階的に引き上げることを昨年のニュースレターで発表し、3 月度に生後 60 日齢以上での取引割合が 100%を初めて達成しました。^{*1}

9 月度も生後 60 日齢以上の割合は 100%、すなわち契約ブリーダーと取引したすべてのペットが 60 日齢以上でした。

2025年9月度 契約ブリーダーとの取引について P's-first

犬猫の取引内訳



取引ブリーダー数



282名

取引日齢



集計期間：2025年9月1日～9月30日

*1：2024年4月23日発行ニュースリリース

[ペット販売の生後8週齢（56日齢）規制に対する私たちの考え方～生後60日齢での取引基準への引き上げに関するお知らせ～](#)

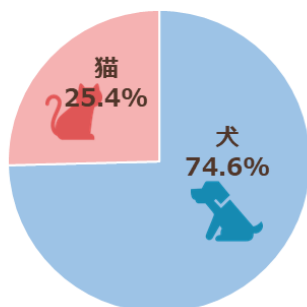
【ショップでのペット販売について】

P's-first 直営店での9月の販売頭数は1,561頭、内訳は犬が74.6%、猫が25.4%でした。販売時点での日齢平均は生後109日齢、店舗に在舎を始めお客様に迎えられるまでの平均期間47日間でした。

また、ペットの衝動買い防止と責任ある終生飼育を推進するために、日頃お客様と接する際のご説明を徹底するだけでなく、P's-first 直営店でペットをお迎えされるすべてのお客様に対し、「ペットのお迎え前セミナー」の受講をお願いしております。^{*2} 9月度には1,561組のお客様がセミナーを受講され、すべてのお客様がご契約に進まれました。なお、ペットのお迎え前セミナーは、[こちら](#)からご覧いただけます。

2025年9月度 ショップでのペット販売について P's-first

犬猫の販売内訳



販売時の日齢平均

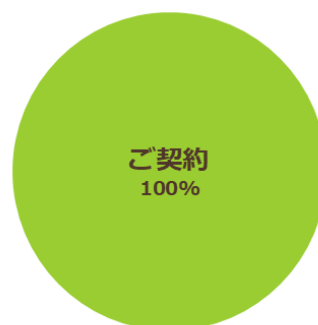


109日齢

在舎平均期間



47日間

お迎え前セミナー後の
契約割合

集計期間：2025年9月1日～9月30日

*2：2025年3月26日発行ニュースリリース

[ペットファーストは、ペットをご購入される前のご契約者様へ「ペットのお迎え前セミナー」を実施しています。](#)
[～ペットの衝動買いを抑え、責任ある終生飼養のために～](#)

【譲渡／ペットケア&アダプションセンター日光の在舎について】

P's-first 直営店では販売前に疾患が発見され治療を行った上で、継続的なケアや検査などが必要となったペットは、“要ケアペット”として P's-first の店舗や、当社グループのケア施設「ペットケア&アダプションセンター日光」で里親探しをします。P's-first 店舗から 6 頭・ペットケア&アダプションセンター日光から 3 頭の計 9 頭を、里親様へと譲渡いたしました。

また、ペットケア&アダプションセンター日光には 9 月末時点で 81 頭が生活し、主に治療を終えた、または回復期にある 74 頭が里親を募集中です。なお、5 頭は里親探し代行サービスの猶予期間中のため募集待ち、2 頭は終生飼養を行う予定です。^{*3}

*3：2025年9月度の里親探し活動の実績や、里親募集中のペットなどの詳細は下記よりご確認いただけます。

[ペットファースト里親探し活動レポート 2025年9月度](#)

【解約について】

9 月度には 9 頭が解約となりました。なお、返還されたペットは、当社がペットの将来に責任を持ち最良のご家族を探します。返還されたペットのうち、4 頭が既に新しいご家族に迎えられました。5 頭は、店舗にて新たなご家族を探しています。

【死亡事故について】

病気や疾患などが発見され、当社メディカルセンターやペットファースト動物病院内等で治療を施したものの、残念ながら発生した死亡事故数は 8 頭、店舗においての死亡事故数は 5 頭、ペットケア&アダプションセンター日光内での死亡事故数は 1 頭でした。

なお、店舗で亡くなってしまった 5 頭のうち 4 頭、およびペットケア&アダプションセンター日光で亡くなってしまった 1 頭については体調異変が見られてすぐに提携動物病院を受診したものの、容体急変により残念ながら入院中および処置中、処置後に息を引き取ってしまいました。店舗で亡くなってしまった 5 頭のうち 1 頭は、前日まで、体調に大きな問題は見られていなかったものの翌朝に死亡が確認されました。子犬・子猫の体調は変化しやすく、特に寒暖差の大きいこの時期においては、体調不調のペットも増えることから、より早い段階での受診や体調不良の前兆を見つけることのできるよう、全スタッフへの周知を引き続き、実施してまいります。

全体の死亡事故数は 14 頭、死亡率として 0.78%、亡くなったペットの死亡時時点での日齢平均は生後 118.4 日齢でした。なお、亡くなってしまったペットはメディカルセンターを経由し、田嶋山九品院にて埋葬供養を行いました。

【当社の在舎頭数について】

9 月末時点で当社に在舎するペットは 2,528 頭です。なお、8 月末時点では 2,326 頭でした。

2025年9月度において、ペットファーストグループで取り扱ったペットのうち、いわゆる売れ残りや行き先が分からないペットは一頭も存在しません。

■ 2025年9月度におけるペットの死亡事故と対策

ペットファーストグループは経営理念に沿い、“ペットの死亡事故ゼロ”を目指して当社獣医師を中心に「死亡事故ゼロプロジェクト」を社内で運営し、社内の病気の発生や死亡原因を獣医学に基づき分析して再発防止に向けての対策を講じています。

【死亡事故ゼロプロジェクト リーダー 稲富獣医師コメント】



学術室 室長/獣医師
稲富 太樹夫

2025 年 9 月の死亡事故数は 14 頭（前月比-10 頭）、死亡率は 0.78%（前月比-0.68%）でした。^{*4}なお、死亡原因の内訳は、呼吸器疾患 4 頭、低血糖 2 頭、消化器疾患 1 頭、心疾患 1 頭、泌尿器疾患 1 頭、原因特定不明 3 頭、その他原因によって亡くなってしまった頭数が 2 頭でした。

9 月度は前月と比較し、死亡頭数・死亡率ともに改善する結果となりました。そして、前月に多く見られた呼吸器疾患の発生が減少し、改善傾向が確認されました。一方で、肺炎に関連する症例数は依然として他疾患より多いことから、管理方法の見直しを進めています。今後は、過去の肺炎罹患症例をもとに、原因分析と再発防止策の強化を行ってまいります。

また、8 月より試験導入しているオンライン診療が、子犬・子猫の体調不良の早期発見・早期介入に有効に機能していることが推察されます。オンライン診療は今後、順次運用を拡大し、さらなる健康管理の質向上を図っていきます。

また、朝晩の気温が下がり、日中との寒暖差が大きいこの時期は低血糖をはじめとする体調不良も多く発生する傾向にあります。子犬・子猫が健康に、十分な発育経過を辿ることのできるよう、現在、栄養管理体制の見直しを進めています。

今後も現状の管理方法を継続的に改善しながら、「ペットの死亡事故ゼロ」を目指して、全スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

※4：前月度のマンスリーペットレポート

■ 2025 年 9 月度のペットの治療と、回復したペットの行方

死亡事故ゼロの実現には、疾病の予防だけでなく、疾病を患ってしまったペットの命を獣医療によって救うことも不可欠です。そのような場合、当グループでは、ウェルネス管理センターとペットファースト動物病院で治療を行い、十分な回復が確認できた後、再び店舗にて家族となっていただけの方を探しています。9 月度、ペットファースト動物病院にて治療後に回復したペットの一例を下記にご紹介します。

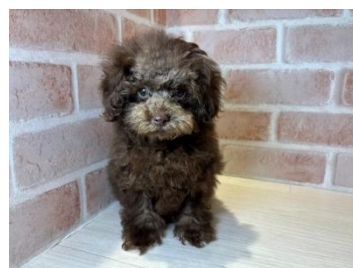
【下痢をはじめとする消化器症状／ペットファースト動物病院 晴海医院にて治療】



ペットファースト動物病院
晴海医院
院長 戸田 泉 獣医師

当社店舗にて、食欲不振と下痢・嘔吐がみられたとのことで店舗から受け入れ、精密な診察・検査を実施いたしました。血液検査の結果をもとに、点滴、抗生剤、吐き気止め、下痢止めによる治療を行った結果、入院後は食欲が回復し、下痢も改善しました。10 日間の治療を終え、回復後は店舗にて元気に過ごしています。

今後もペットの健康と安全を最優先に、症状に応じた迅速かつ適切な医療対応を継続してまいります。



▲回復し、店舗で家族を探すトイプードル

当社グループでは病気の予防と獣医療によってペットの命を守り、私たちが受け入れたすべてのペットの家族を見つけて幸せなペッティライフを送れるよう、今後も改善を続けてまいります。同時に、情報を開示し続けることによって、あるべき健全なペットショップ運営を行います。

■会社案内

【会社名】 ペッツファーストホールディングス株式会社
【所在地】 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-24-12 オリックス目黒ビル 9F
【資本金】 100 百万円
【売上高】 14,659 百万円（2024 年度実績）
【従業員数】 1,218 名（うち獣医師 69 名 愛玩動物看護師 88 名※業務委託含む）2025 年 9 月末時点
【代表者】 代表取締役会長 CEO 坂本晴彦
取締役社長 COO 正宗伸麻
【ニュースレター】 <https://www.pfirst.jp/newsletter.html>

※2025 年 6 月 6 日、ペッツファーストホールディングス株式会社は、アー克蘭ズ株式会社のグループ会社となりました。

【会社名】 アー克蘭ズ株式会社
【所在地】 〒955-8501 新潟県三条市上須頃 445 番地
【資本金】 6,462 百万円
【売上高】 315,700 百万円（2025 年 2 月期）
【従業員数】 13,094 名
【代表者】 代表取締役会長 CEO 坂本晴彦
代表取締役社長 COO 佐藤好文

【その他】

アー克蘭ズ株式会社は「暮らし、満たす。こころ、満たす。」をスローガンに業界をリードする生活価値提供グループを目指し、ホームセンターの「ムサシ」、「ビバホーム」、とんかつ専門店「かつや」、からあげ定食専門店「からやま」等の「住」と「食」に関わる事業を展開します。独自の進化と変化を続ける事で専門性を極め、お客様の「もっとくらしを豊かにしたい」というおもいにお応えします。

■お問い合わせ先

【本掲載内容について】
ペッツファースト株式会社 広報部
電話番号 03-6910-4500／E-mail pr@pfirst.jp
担当者 西河・小野